



【コロナウイルス感染防止対策－注意事項】

1 入退場の経路、時間、順序、方法

- 1.1 選手・スタッフ、オフィシャル（当番）、チーム関係者は、スタッフの指示に従い、**夜間通用口から練習開始 30 分前より入場する（北口・南口からの入場は禁止）。**
①ビジター→②ホーム→③オフィシャル（当番）→④チーム関係者の順に入場する。
- 1.2 選手とスタッフは一緒に入場する。オフィシャル（当番）は一緒に入場する。
関係者（保護者等、来場者リスト要記載）は一緒に入場する。**個別入場は不可。**
（中学生以下の家族は、選手・スタッフと一緒に入場を認める。来場者リスト要記載）
- 1.3 チーム責任者が先頭で入場し、受付でリスト（オールメンバー表／オフィシャル担当表 1 部／来場者リスト 1 部）を提出する。
いずれのリストにも記載されていない人員は、入場不可。
- 1.4 スタッフの指示に従い、距離をとって入場し、検温を受け、手指消毒を行う。
（検温により発熱があった際は、当該者は外で待機、責任者立ち合いで再検温し発熱があれば入場不可。）
- 1.5 チームは指定の場所でウォームアップを終えてから入場する。
北口線路横（屋外）を両チームで分割して使用する。雨天（悪天候）時は、リンク内でのウォームアップのため、選手・スタッフの入場を 45 分前から可能とする。
- 1.6 **途中退場・再入場は不可とする。**
- 1.7 **試合終了後、30 分以内に全員退場する。退場は「北口」からとする。**
夜間通用口からの退場は禁止＝次のリンク使用者の入口になるため。

2 感染予防対策

- 2.1 **屋外を含むリンク敷地内では、全員、常時不織布マスクを着用する。**
ただし、選手については、氷上・ベンチ内のみ、マスク未着用を認める。
リンク敷地内の屋外でのウォームアップ時、雨天時のリンク内ウォームアップ時はマスク着用。
- 2.2 **不織布マスクを着用する。ウレタンマスク・布マスクは不可。**
（ただし、不織布マスクと二重に着用の場合は可）。
- 2.3 手洗い、手指消毒、密を回避し対人距離を保つ等、基本的な感染予防策をとる。

3 使用指定エリア

- 3.1 着替えエリア（リンクサイド）については、当日、リンク入場時に指定する。



3.2 トイレ

1. ホームは、リンク階（ザンボ口奥）のトイレを使用する（レフェリーも使用）。
 2. ビジターは、観客席階の北東（ビジターベンチ側の奥）のトイレを使用する。
 3. オフィシャルは、観客席階の南東（本部席側の奥）のトイレを使用する。
- ※導線を分ける。スケートで移動可能なゴムシートが敷いてある場所を指定。

4 飲食

- 4.1 **リンク内での飲食禁止。**選手のドリンク・ゼリーなどは可。

5 ゴミ

- 5.1 **チームでゴミ袋を用意し、ゴミはすべて持ち帰る。**リンクのゴミ箱は使用できない。
特に試合後、ドリンク飲み残し、使用済みのティッシュ、テープ等を放置しない（ベンチおよび着替えエリア）。チーム責任者は、最後に必ず確認すること。

6 駐車券

- 6.1 駐車券は、入場時に受付で割引認証機の処理を受ける。チーム関係者にも周知し、個別に依頼してリンクに迷惑をかけること。

7 チーム関係者の来場

- 7.1 **同意書、注意事項、リンクや連盟からの指示を遵守する場合のみ、チーム関係者（保護者等）の来場（観戦）を許可する。チームは責任を持って周知徹底すること。**
- 7.2 人数は、1試合につき、1チーム最大30名までとする。
- 7.3 来場者リストに記入し、チーム責任者が入場時に提出する。
来場者リストに記載がない人員は、入場不可。
- 7.4 関係者は、**不織布マスク着用、消毒・検温**を行う。
- 7.5 関係者はチーム毎と一緒に、オフィシャル（当番）入場後に入場する。個別入場は不可。受付でチーム名を伝える。**途中退場・再入場は不可。**
- 7.6 **観戦するサイド（北側・南側）は、当日指定する。**固定観客席（赤いイス）にて観戦する。密にならないように座る（前後左右、間をあける）。
指定エリア以外の座席を使用しないこと。
- 7.7 **飲食禁止。**
- 7.8 ゴミはすべて持ち帰る。

8 消毒作業について

- 8.1 試合終了後、各チームのスタッフがベンチ内の消毒作業を行う（連盟が準備をした消毒液による消毒）。

* 状況により変更等が発生することがあります。



【緊急対応について】

- 9 選手・監督・コーチ・スタッフ等全てのチーム関係者（以下、関係者）を対象とし、大会開催 2 週間前から大会開催期間中にコロナ感染者および濃厚接触者が発生した場合の対応、連絡事項などを定める。

9.1 ケース 1：感染が疑われる状況となった場合や濃厚接触者となった場合

（同居家族の感染が判明した、保健所から濃厚接触者に指定された場合など）

● 該当者

該当者は保健所に連絡、指示に従い、自宅隔離もしくは医療機関を受診する。必要と判断された場合、PCR 検査を受ける。直ちにチーム責任者・チームドクター（もしくはトレーナー）等に連絡する。

● チーム責任者

この時点で当連盟の女子委員会へ状況を報告する。

9.2 ケース 2：PCR 検査にて陽性と判定された場合

● チーム責任者

以下の内容を女子委員会に速やかに報告する。

- a. 陽性者の情報（選手、スタッフ等）
- b. 経過および症状
 - i. 発症日とその時点の症状
 - ii. 受信医療機関名と医療機関の所見～PCR 検査日・判定確定日
 - iii. 現在の隔離状況（合宿所、自宅、指定ホテル、病院など）と病状
 - iv. 感染 2 日前～発表日までの本人の行動履歴、感染経路等判明している事実
 - v. 周囲の関係者の状況（容態の変化の有無、濃厚接触の可能性およびその対応）
- c. チームの対応状況・対処方針
チームの活動状況（練習停止等）、今後のスケジュール、感染拡大防止の取組み等

※必要に応じ、対戦チーム、オフィシャルチームへ、感染が疑われる症例発生的事实、濃厚接触者の有無、チームの対応状況・方針等を伝える場合があります。

以上